

2009年度 授業カリキュラム(抄)

学校法人 後藤学園
神奈川衛生学園専門学校

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	基礎分野		
科目名	心理学	単位数	2
担当者	久保 賢師	学年	1

教育目標	我々の意識現象や行動についての基礎的な学習をすると同時に、ATライセンス取得の為にスポーツ心理学全般についての理解を深める。
------	--

教育内容	体協AT養成講習会教本を中心に授業を進める。
------	------------------------

教育方法	短期集中型授業形態のリスクを軽減するよう、VTRの実験・実習を積極的に導入するつもりである。
------	--

評価方法	出席状況ならびにレポート等により総合的に評価する。
------	---------------------------

教科書	体協B級AT養成講習会教本 資料は適宜配布する。
-----	-----------------------------

使用器具	特になし
------	------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	基礎分野		
科目名	情報科学	単位数	2
担当者	渋谷 聡	学年	2

教育目標	<p>近年、多くの職場や日常生活において、パソコンを使う機会が非常に増えている。また、いかに自分の欲しい情報を効率よく集めることができるかが重要な時代でもある。</p> <p>本授業の目標は、統計学をもとにパソコンをツールとして情報科学を理解することである。また、もとなる統計学においても数式などを用いるのではなく、実際に例題としてデータを用いることで情報科学を実践的に学んでいく。</p>
教育内容	<p>その時間ごとに例題を用いながら、テーマに沿った授業を進めていく。前半は、統計学を用いた情報科学の基本的な考え方と、Microsoft-Word及びExcelの使い方を合わせて学んでいく。後半は、実際にデータを用いて仕事で使える統計手法を中心に情報科学を理解していく。</p>
教育方法	<p>その時間ごとに情報科学やコンピュータの専門用語を解説し、パソコンを用いて授業を展開していく。</p>
評価方法	<p>出席を中心に、授業態度を加味して評価する。</p>
教科書	<p>なし</p>
使用器具	<p>パソコン</p>

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	基礎分野		
科目名	スポーツ栄養学	単位数	2
担当者	金子 佳代子・古泉 佳代	学年	1

教育目標	5大栄養素の栄養的意義、各食品群の特徴、日本人の食事摂取基準、アスリートのための栄養を理解し、適切な食物選択の能力を身につける
------	---

教育内容	<p>食事は身体活動の原動力にもかかわらず、トレーニングほどに即効性がないとの認識からか、スポーツ（競技）の現場において、あまり重視されていなかった。しかし最近、スポーツおよび健康のための運動において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識され、適切な食事は健康づくりや生活習慣病予防のための運動、スポーツにも大きな影響を与えていることが明らかとなり、注目されるようになってきた。</p> <p>スポーツ栄養学の目的は、まず栄養摂取の重要性について理解し、望ましい栄養状態を保てるように食生活を改善することである。そのためには栄養素や食品について正しい知識をもち、実践のための技術を身につけなければならない。この目的を達成するために、身体活動における栄養素の働きを熟知して、スポーツ・運動種目別の栄養管理や、現実の食生活として中食・外食栄養、世代別スポーツ・運動栄養を理解できるようにする。</p>
------	--

教育方法	<p>基礎的な栄養素等の理解を深め、食生活を改善する知識を身につけるために、飲料の糖度の測定や塩分の測定、骨密度の測定等を取り入れる。</p> <p>食事の栄養バランスについては、栄養計算ソフトを使用して計算するなど、様々なツールを使用して客観的に把握できるようにする。</p> <p>グループやクラスでの作業、ディスカッション等を通して、多様な考え方や生活スタイルに気づき、適切な食生活を選択することができるようにする。</p>
------	---

評価方法	試験、レポート、出席状況により総合的に評価する
------	-------------------------

教科書	ビジュアルワイド 食品成分表（東京書籍）
-----	----------------------

使用器具	パソコン
------	------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	基礎分野		
科目名	保健体育	単位数	2
担当者	松田 和彦	学年	2

教育目標	スポーツ医学で学んだ基礎実技・運動処方をさらに各自が自分の能力において確実なソフトとして指導できるようになることを目標とする。
------	---

教育内容	運動処方における具体的プログラムを紹介し、最終的に年間コンデショニング計画表の作成及び具体的プログラムが各自のレベルにおいてできるような内容とする。 (体操作成)
------	--

教育方法	講義の前半は、運動処方の具体的例を説明し、後半は、プログラムの実践を行なう。 各自のレベルにおける個別指導も行なう。
------	---

評価方法	年間コンデショニング計画表40点・健康体操処方40点・出席日常態度20点 合計100点
------	--

教科書	健康運動実践指導者用テキスト / 別途資料
-----	-----------------------

使用器具	身体・体力測定器具一式 / トレーニング器具一式、ビデオの使用
------	---------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	解剖学	単位数	2
担当者	林 弘之	学年	1

教育目標	鍼灸師としての必要な解剖学的知識を身につける。これにより、人体の構造を深く理解し、臨床上適切な応用力と、安全かつ効果的な治療ができる知識を修得する。
------	--

教育内容	以下の項目について講義ならびに実習を行う。 1. 解剖学概論（歴史を含む） 2. 細胞学 3. 組織学 4. 頭蓋骨 5. 神経系 6. 人体発生学 7. 解剖学実習・見学
------	---

教育方法	教科書を中心に講義を進めるが、平面的な理解になりがちな講義をパソコンやビデオを用い、できるだけ立体的に理解できるように講義を進めていく。
------	--

評価方法	試験（中間試験・定期試験）により評価する。
------	-----------------------

教科書	【教科書】解剖学（医歯薬出版）、カラーアトラス人体（医学書院） 【教科書】解剖学（医歯薬出版）、カラーアトラス人体（医学書院） 【参考書】コメディカルのための専門基礎分野テキスト「解剖学」（中外医学社）
-----	---

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	生理学	単位数	3
担当者	長谷川 賢司	学年	1

教育目標	生理学は、基本的には生体の機能に関する学問領域であり、いわゆる基礎医学のなかでも、特に重要科目の一つと考えられている。将来鍼灸・手技療法に携わる人々の領域においてもその重要性にかわりはないため、臨床医学への橋渡しとして、基本的な生理概念を理解する。
------	--

教育内容	ヒトの生理機能は脳、神経系、感覚系、運動系など特に動物に発達している動物性機能と、血液、循環系、消化器系、排泄系、内分泌系、生殖系、など動植物ともにもっている植物性機能とに大別される。本授業では主に植物性機能を中心とした血液とリンパ、循環と呼吸、生体防御機構、消化と吸収、代謝と体温、排泄などのほか、生理学の基礎、ホメオスタシスと生体リズム及び動物性機能の感覚について学習する。
------	---

教育方法	正常な生理機能の理解は病的状態を理解する基礎となり、また病的状態の治癒、緩和などに用いられる鍼灸・手技療法が生体に及ぼす影響を知る上で不可欠である。講義を中心として臨床との関連も説明しながら、あはき師に必要な人体の機能について理解を深める。
------	--

評価方法	定期試験 , により評価
------	--------------

教科書	生理学 医歯薬出版株式会社
-----	---------------

使用器具	得になし
------	------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	臨床医学総論	単位数	2
担当者	高橋 雅明	学年	2

教育目標	鍼灸・あん摩・マッサージ・指圧師の臨床において必要な現代医学的な診察法に関する知識を学習し、実際に臨床にあたってこれを応用して治療の適応・不適応の判断、適切で確実な施術方法を定める上で、対象となる患者の状態を正確に把握し、病状と疾病を判断する能力を育成する。
------	---

教育内容	臨床医学総論における現代医学的な診察法とは、問診・身体診察から得られた所見から身体の構造や生理学的メカニズムなどに基づいて、患者の訴える症状の背後で起こっている病態や疾患を予測することであることを理解させ、現代医学的な問診・診察の重要性を認識させるようにする。 (1) 診察の方法と応用 問診法 身体診察 全身診察法 局所診察法 (2) 検査法 検査法の概要 理学検査(問診・診察)：頸腕痛、肩関節痛、腰下肢痛、膝関節痛
------	--

教育方法	講義形式を用いて実際の診察法、身体所見を教授する。 教科書に記載されている代表的な疾患については病態・症状、解剖学・生理学の基礎的な知識など必要最低限の内容をプリントにまとめて配布し、疾患の全体像を把握させるようにしている。 重要な内容は板書を避け資料を配布して再学習しやすいように心がけている。 身体所見や症状については実物投影機を用いて文献などの写真やビデオを視聴させて理解させる。また実際の症例を数多く紹介しながら、具体的な臨床について認識を深め、診察を行なうことに対する動機づけをする。
------	--

評価方法	定期試験に準ずる。
------	-----------

教科書	使用教科書：臨床医学総論(医歯薬出版) 参考図書：内科診断学(南江堂)・標準整形外科学(医学書院) 使用器具：実物投影機・血圧計・ハンマー・音叉・筆・聴診器
-----	--

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	臨床医学総論	単位数	
担当者	川辺 修二	学年	2

教育目標	1) ワクチン療法・外用剤・抗生剤などの薬物療法の基礎知識の習得 2) 手術療法の一般的知識の習得
------	--

教育内容	スライド等を用い、基礎知識と臨床の実際を学習
------	------------------------

教育方法	power pointによるスライドとビデオにて授業を行なう。
------	---------------------------------

評価方法	出席状況
------	------

教科書	教科書
-----	-----

使用器具	ビデオ パソコン
------	----------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	病理学概論	単位数	2
担当者	小園 知	学年	2

教育目標	<p>疾病は、自覚的並びに他覚的に正常範囲をはずれた病的な機能や形態として現れる。この形態の変化は疾病の原因でもあり、同時に結果でもある。</p> <p>そこで疾病の原因とその成り立ちを理解するための基礎的な形態学的知識(病理学総論)を身につける。</p>
教育内容	<p>病因論・先天異常・循環器系の概要、循環血液量の異常、閉塞性循環障害、側副循環、リンパの循環障害、代謝異常；細胞の障害と適応，細胞障害の結果としての物質沈着（タンパク質・脂質・糖質・有機質・無機質・色素の代謝異常）炎症の原因と経過，炎症の各型 免疫とアレルギー・免疫不全，移植と自己免疫，膠原病 腫瘍の定義と分類 悪性腫瘍の転移と進行度，腫瘍の発生病理，腫瘍の診断と治療． 老化と死"</p>
教育方法	<p>プリントを配布し、コンピュータ（パワーポイント）を用いて授業を行なう。</p>
評価方法	<p>筆記試験（本試験小テスト）とレポートによる総合評価。</p>
教科書	<p>病理学概論 畠山 茂著 医師薬出版</p>
使用器具	<p>系統看護学講座，中村恭一編（医学書院）エッセンシャル病理学，大西義久編（医歯薬出版） 病理学サブノート，北澤吉昭（犀書房）</p>

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	臨床医学各論	単位数	2
担当者	高橋 雅明	学年	3

教育目標	疾病に関する現代医学的知識についてその概念を把握し、その原因、症状、検査、治療及び、その予後について基礎的な知識を習得し、また主要疾患に関しては、その病態生理と症状の発現に関して理解しながら、各疾患の病態のメカニズムについて、その知識を深める。 臨床医学各論 では、主に内科疾患に関して学習する。
------	---

教育内容	消化器疾患（口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸疾患、腸疾患） 肝臓・胆疾患（肝炎、肝硬変、胆石症、胆嚢炎、胆嚢癌、膵炎、膵臓癌） 呼吸器疾患（感染症、気管支喘息、肺気腫、慢性気管支炎、間質性肺炎、肺癌） 腎・尿路疾患（糸球体腎炎、腎不全、ネフローゼ症候群、尿路結石、前立腺肥大症） 内分泌疾患（甲状腺、下垂体、副腎） 代謝疾患（糖尿病、高尿酸血症、痛風、高脂血症） 循環器疾患（虚血性心疾患、心不全、動脈硬化症、弁膜症、血圧異常、不整脈） 血液疾患（貧血、白血球疾患、出血性疾患、悪性リンパ腫） 膠原病（関節リウマチ、SLE、強皮症、ベーチェット病、シェーグレン症候群、アレルギー疾患） 婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、子宮癌、乳癌、更年期障害） 感染症（細菌、ウイルス、性行為感染症）
------	---

教育方法	学習方法：履修内容順に講義を中心として進行する。 媒体：教科書（臨床医学各論）、配布資料
------	---

評価方法	定期試験により評価する。
------	--------------

教科書	臨床医学各論（医歯薬出版）
-----	---------------

使用器具	実物投影機
------	-------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	臨床医学総論	単位数	1
担当者	高橋 雅明	学年	2

教育目標	鍼灸・あん摩・マッサージ・指圧師の臨床において必要な現代医学的な診察法に関する知識を学習し、実際に臨床にあたってこれを応用して治療の適応・不適応の判断、適切で確実な施術方法を定める上で、対象となる患者の状態を正確に把握し、病状と疾病を判断する能力を育成する。
------	---

教育内容	臨床医学総論における現代医学的な診察法とは、問診・身体診察から得られた所見から身体の構造や生理学的メカニズムなどに基づいて、患者の訴える症状の背後で起こっている病態や疾患を予測することであることを理解させ、現代医学的な問診・診察の重要性を認識させるようにする。 (1) 診察の方法と応用 問診法 身体診察 全身診察法 局所診察法 (2) 検査法 検査法の概要 理学検査(問診・診察)：頸腕痛、肩関節痛、腰下肢痛、膝関節痛
------	--

教育方法	講義形式を用いて実際の診察法、身体所見を教授する。 教科書に記載されている代表的な疾患については病態・症状、解剖学・生理学の基礎的な知識など必要最低限の内容をプリントにまとめて配布し、疾患の全体像を把握させるようにしている。 重要な内容は板書を避け資料を配布して再学習しやすいように心がけている。 身体所見や症状については実物投影機を用いて文献などの写真やビデオを視聴させて理解させる。また実際の症例を数多く紹介しながら、具体的な臨床について認識を深め、診察を行なうことに対する動機づけをする。
------	--

評価方法	定期試験に準ずる。
------	-----------

教科書	使用教科書：臨床医学総論(医歯薬出版) 参考図書：内科診断学(南江堂)・標準整形外科学(医学書院) 使用器具：実物投影機・血圧計・ハンマー・音叉・筆・聴診器
-----	--

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門基礎分野		
科目名	医療概論	単位数	1
担当者	山田 英史	学年	1

教育目標	医学と医療の発展してきた歴史を学び、現代医学・医療体系を認識し、医療人としての倫理を学ぶことにより、鍼灸あん摩マッサージ指圧師としての常識を身につける。
------	--

教育内容	<ul style="list-style-type: none">・医学と医療の歴史過程を学び、それぞれの特色を学習する。・現代の医療制度・医療体系を認識し、現在の制度のなかで問題となっている内容等を抽出・考察することにより、医療と関連する事項を学ぶ。・医療倫理について考察し、医療人としての心構えを学ぶ。
------	--

教育方法	教科書に沿った内容のプリントを配布し、重要なポイント等を記入させることによりそれらを認識しやすいように配慮する。また本科目終了時に配布プリントによる一冊のノートが完成できるようにする。
------	--

評価方法	定期試験による
------	---------

教科書	(社)東洋療法学校協会編 医療概論第1版第14刷発行 必要に応じてプリント配布
-----	--

使用器具	特になし
------	------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅうマッサージ理論	単位数	1
担当者	山田 英史	学年	1

教育目標	鍼灸あん摩マッサージ指圧の意義・特徴を理解し、また各種施術法の知識を習得することにより、鍼灸あん摩マッサージ指圧についての基本を身につける。
------	--

教育内容	<ul style="list-style-type: none">・あん摩、マッサージ、指圧それぞれの意義や沿革を学習し、その相違点、基本手技、作用について理解を深める。・鍼術に必要な基礎知識、基本手技について学習する。・特殊鍼法や古代九鍼などについて学習する。・灸の材料や製造法などの基礎知識、灸術の種類について学習する。・鍼灸の刺激量、感受性を学習し、施術時のリスク回避について理解を深める。・鍼灸の適応症や禁忌について学習する。
------	---

教育方法	教科書の内容に沿ったプリントを配布、またはPowerPoint等を使用することにより、文字や言葉だけでは理解しにくいものをイメージしやすいように配慮する。特殊鍼法や古代九鍼などは実際に道具に触れさせる。手技・刺法については実技も兼ね理解しやすいように配慮する。
------	--

評価方法	定期試験による
------	---------

教科書	社)東洋療法学校協会編 はりきゅう理論 あん摩マッサージ指圧理論 各授業にて必要の応じプリント配布
-----	--

使用器具	必要に応じてPower Pointを使用。艾の製造法を学習する際、DVDを使用。 はり枕とディスポ鍼(人数分)・各種鍼管・古代九鍼・小児鍼・艾・温灸道具
------	---

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	経絡経穴概論	単位数	1
担当者	大津 幸恵	学年	2

教育目標	経絡の流注を理解し、十四経の所属経穴を取穴することができる。さらに、要穴を理解することにより、治療において適切な選穴ができる能力を身につける。
------	---

教育内容	十二経脈を手の三陰経、手の三陽経、足の三陰経、足の三陽経に分けそれぞれの経脈の流注の特徴を学習し理解を深める。それにより経脈の走行と経穴との関連を把握し、さらに身体各部の局所解剖を復習することで取穴のポイントを身につける。また、要穴の概念・作用・臨床応用について学習する。
------	--

教育方法	経絡経穴の全体像を把握するために、十四経脈の経穴名を暗唱する。各経脈の流注と経穴の解説は講義形式で行い、要穴や主要な経穴は取穴実技を行う。さらに、要穴や主要な経穴の取穴部位については授業開始時に小テストを行い評価の対象とする。
------	---

評価方法	定期試験、小テスト、経穴名暗唱、出席状況により評価する。
------	------------------------------

教科書	教科書は「経絡経穴概論」「東洋医学概論」を使用する。必要に応じプリントを配布する。
-----	---

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	身体診察法	単位数	1
担当者	米田 好孝	学年	2

教育目標	臨床において必要な問診法と徒手検査法の基礎を身につける。
教育内容	3年次にて行われる臨床実習に対し必要な医療面接、身体診察などを修得する。患者さんとの接し方、医療面接ではOSCEを導入しグループワークにて学習する。この授業で学習する徒手検査法は、鍼灸師がベッドサイドで活用できるもので、臨床医学各論・臨床医学総論の教科書に記載されており、国家試験で出題される傾向が高いものを中心に挙げた。
教育方法	基本的な内容については資料を用いて講義とデモンストレーションを行う。その後ペアを組んで実習する。面接の実習は4～5名のグループを作り、客観的評価を加えながら行う。実習学生はロールプレイ後のディスカッションを通じて、個々に次回の課題を得る。
評価方法	実技試験にて評価する
教科書	学校協会臨床医学総論・臨床医学各論 その他プリント配布して対応する。
使用器具	OHP・血圧計・ハンマー・知覚検査用筆

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	東洋医学概論	単位数	2
担当者	阿部 好史	学年	1

教育目標	東洋医学が医学であることを認識し、その医学体型の生理学部分を身につける。 また、東洋医学そのものが実践ありきの理論であるため机上での学習のみに囚われず常に患者モデルを連想する学習方法を身につける。
------	---

教育内容	精・気血津液・神 五臓六腑 奇恒の腑
------	--------------------

教育方法	東洋医学に興味を持たせることを最重要課題に掲げ、導入は身近に存在する東洋医学を紹介し、そこから「いろは」を学ぶ。以降も臨床的な内容を常に織り交ぜて学ぶ。
------	--

評価方法	定期試験
------	------

教科書	指定教科書・針灸学基礎編
-----	--------------

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	東洋医学概論	単位数	
担当者	武 貢一	学年	1

教育目標 専門用語を学び、東洋医学思想を理解することができる。人体に触れ、経穴取穴時に必要となる触診技術を修得することができる。

教育内容 東洋医学の歴史などを交え、東洋医学独特のものの見方、考え方について学習する。

教育方法 講義形式を用いて東洋医学の専門用語を理解させる。骨度法ではイメージしやすいように経穴模型を用いて行う。また経穴取穴時に触診しづらい背部などを中心に人体に触れさせ、人の体に触れることに慣れさせる。

評価方法 定期試験に小試験の点数を加算して評価する。

教科書 東洋医学概論

使用器具 経穴模型、各授業に応じプリント配布、取穴シール

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	東洋医学概論	単位数	2
担当者	鎌田 剛	学年	2

教育目標	<p>証候診断学：学習の仕方はチュートリアル教育の方法を採用するものとし、自己学習、グループ討論を通じ、自分で患者情報を処理できるようになることを目指す。さらに自分で処理した患者情報について、その根拠を説明できる能力を養う。 臨床経穴学：治療目的に応じた選穴ができるようになる。選穴理由を説明できるようになる。効果の増強を目的とした一定の配穴ができ、その配穴理由を説明できる。 証候診察法：証決定に必要な患者情報をまず収集できる能力を養う。明確な診察目的を持った上で、各自が一定の流れで診察・検査を行える能力を養う。</p>
------	--

教育内容	<p>証候診断学：入門編20症例 臨床経穴学：経穴総論、選穴法、配穴法 証候診察法：四診(望聞問切)技法。身体診察は舌診、脈診、腹診、背候診、募穴診を主な内容とする。病因、病位、病態把握のために必要な問診技法。</p>
------	---

教育方法	<p>証候診断学：まず症例を提示しグループごと証候分析を行う。その後、処理した患者情報をもとに弁証結果を導き出し、代表者に発表させる。発表した内容に対してコメントや質問を行うことにより弁証能力を養う。適宜、教材(カード)を用いる。 臨床経穴学：講義形式で重要な経穴の穴性の解説をおこない、その後に弁証トレーニング形式で配穴まで導き出す訓練をおこなうと共に、チュートリアル形式で問診情報を引き出す訓練を行う。 証候診察法：針灸治療の診断と治療方針の決定に必要な診察技術を学び、それができるようにトレーニングする。なぜ体にシグナル(反応)が現れるのか。その現れかたには一定の法則があり、体に張り巡らされた情報伝達システム(臓腑間の関係、臓腑と経絡との関係)を把握することにより、東洋医学的に何を診察しなければならないのか、どのように診察・検査をしなければならないのかを学ぶ。</p>
------	---

評価方法	定期試験
------	------

教科書	鍼灸学基礎編
-----	--------

使用器具	中医学教育教材(カード)・サブノート
------	--------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	地域保健医療福祉	単位数	1
担当者	西田 篤	学年	2

教育目標	現在の介護保険における仕組みを理解し、今後のあはき療法として活躍できる可能性を理解する。地域に参入する具体的手法を示す。 介護予防という新しい概念を把握し、高齢者のニーズを理解し実技指導をできるようにする。
------	--

教育内容	介護保険のしくみ。高齢者における転倒の危険性と予防の重要性を把握。トレーニング指導を考える。
------	--

教育方法	介護保険制度と介護予防の最新トピックスの紹介。 介護予防に至った経緯、考え方を身につける。 実例をもとに介護予防の必要性を演習し、自らが考え運動プログラムを作成する。
------	---

評価方法	出席状況と最終授業における評価
------	-----------------

教科書	
-----	--

使用器具	
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	地域保健医療福祉論	単位数	
担当者	須賀井 本男	学年	2

教育目標	<p>医療・保健・福祉の連携を学び、実践する上で、地域へのアプローチは非常に大切である。</p> <p>高齢化社会を現実的にとらえ、あはきの専門分野のみでなく、医療・保健・福祉の分野を総合的に習得する。</p>
------	---

教育内容	<ol style="list-style-type: none">1)医療・保健・福祉の現状と課題2)高齢社会の現状と課題3)地域へのアプローチ4)医療人としての倫理観・患者への接し方5)ビジネスとしての医療・保健・福祉6)医療・保健・福祉の今後の方向性
------	---

教育方法	<p>講義形式のみでなく、小集団におけるグループディスカッションの時間を多くし、生徒相互が討論の中から学びとれる時間を多くする。 「個」の意見が「組織」にどう生かされているか学んでいく。</p>
------	---

評価方法	<p>最終回の講義の後半にレポート（課題あり）提出。 全員分を見てコメントを記入後、後日、学校へ返却。</p>
------	---

教科書	
-----	--

使用器具	なし
------	----

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	地域保健医療福祉論	単位数	
担当者	渡辺 明春	学年	2

教育目標	高齢社会における、あはき師の地域での役割を理解する。そこでなされていることの一部から、保健・医療・福祉連携に資する基本を身につける。
------	--

教育内容	介護保険制度について、その概要をつかむとともに、機能訓練指導員、ケアマネジャーの業務を理解する。また年々増加する認知症に対する対応方法を学ぶ。高齢者疑似体験、車椅子操作を通じ、高齢者などとの接し方の基本を修得する。さらに日常よく使われる福祉用具や住宅改修について、基礎的な理解ができるよう学習する。 介助の基本テクニック（寝返り、起き上がり、立ち上がり、立位保持、移乗など）を学ぶことで、要介護状態患者へのアプローチの基礎を体得する。
------	--

教育方法	講義ではビデオ、DVD映像などを活用し、イメージがわくように努める、また高齢者疑似体験や介助の基本テクニックを学ぶ際には、グループによる実技をおこない、現場での実践につながるよう配慮する。
------	--

評価方法	レポート及び出席状況による（出席は当該科目30時間のうち、規定時間以上を合格とする）
------	--

教科書	必要に応じプリント配布 福祉用具カタログを80名分配布（渡辺が手配） 認知症サポーター講義標準教材（渡辺が送付を手配）
-----	---

使用器具	ビデオデッキ、DVDデッキを各1台。 ベッド、高齢者疑似体験セット、車椅子を各6台程度（後2者は小田原市福祉協議会に手配願います）
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実技	単位数	2
担当者	西田 篤	学年	1

教育目標	患者さんを触ることの手を作る。指圧の基本である押圧の方法を理解し習得する。
------	---------------------------------------

教育内容	患者さんを触るにあたっての心構え、触り方を理解する。指圧における3原則（垂直、持続、集中）を基に基本を身につける。各部位における指圧の施術を行う。
------	---

教育方法	手を身につけるための反復練習を中心に行い、手を慣れさせる。各部位におけるデモを行い、ポイントを理解して学生間で実技を実施する。姿勢や刺激量をしっかり身につける。
------	--

評価方法	日常点、実技テスト
------	-----------

教科書	なし
-----	----

使用器具	なし
------	----

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実技	単位数	2
担当者	飯野 享	学年	1

教育目標	<p>按摩の基本手技を習得する。 それらの手技を用い、安全かつ心地よい施術が出来るようにする。</p>
教育内容	<p>軽擦法、揉捏法、圧迫法、振せん法、叩打法、曲手、運動法の7手技の習得。 さらに、特に按摩の特徴である母指揉捏法は、体重移動や柔軟な手首の使い方などをしっかりと練習する。 座位での肩背部、頸部、上肢部への施術が行えるようにする。</p>
教育方法	<p>授業の始めにはまずウォーミングアップも兼ね、前回の授業内容を復習する。新たに進む際にはその都度デモンストレーションを行い、ポイントや注意点等を口頭で説明する。各自プリントに記入・確認し、二人一組で施術の練習を開始する。出来るだけ手を動かす時間を確保し、その間一人一人見て回り疑問点等に答えながら手直しをする。授業の始めにはまずウォーミングアップも兼ね、前回の授業内容を復習する。新たに進む際にはその都度デモンストレーションを行い、ポイントや注意点等を口頭で説明する。各自プリントに記入・確認し、二人一組で施術の練習を開始する。出来るだけ手を動かす時間を確保し、その間一人一人見て回り疑問点等に答えながら手直しをする。</p>
評価方法	<p>実技試験による評価(出席状況やレポートも評価に加算) 実技試験は、一部位終了のたびに行う。実技本試験では全ての範囲での試験を行う。</p>
教科書	<p>手拭い(各自持参)、必要に応じてプリント配布</p>
使用器具	<p>なし</p>

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	あま指基礎実技 (MLD)	単位数	
担当者	笹倉 淳子・山内 晶子	学年	1

教育目標 臨床現場で出会うリンパ浮腫の患者様へ適切に対応できるよう、リンパ浮腫とリンパ浮腫治療のひとつである複合的理学療法について知る。

教育内容 リンパ浮腫と複合的理学療法について知りその体験。

教育方法 パワーポイントによる要点をおさえた内容と症例により、理解を促す。実技の中で、皮膚への刺激量について認識できるようMLD、バンテージなどのデモを行う。

評価方法

教科書

使用器具 PC、プロジェクター、リンパ浮腫治療用脚マット、上下肢用弾性着衣・包帯、プリント類、学生は短パン持参。

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	あん摩マッサージ指圧応用実技	単位数	1
担当者	大西 千佳	学年	3

教育目標	3年時のマッサージ実技であることを踏まえ、座学での解剖学や運動学を立体的に認識した上での、四肢（上肢・下肢）のパウダーを用いたマッサージ方法と、卒後臨床で重要と思われる“手のあたり”を意識した施術を身に付ける。
------	---

教育内容	四肢の関節および筋肉の構造や特徴を、解剖学や運動学の復習として講義し、その上でパウダーを用いたマッサージを行う。また、臨床で遭遇することの多い疾患・症状と、そのマッサージ方法を紹介する。
------	---

教育方法	施術に関する諸注意や施術順序、また施術部位の解剖などはプリントを配布して講義する。生徒同士で2人一組のペアをつくってもらい、それぞれの身体を使って実技を行う（基本的に、時間内に双方が施術を行う）。実技練習時間が充分取れるよう、座学と実技時間のバランスに注意する。
------	---

評価方法	実技試験および出席状況により評価する。
------	---------------------

教科書	使用教科書は特に指定なし。各授業にて必要に応じプリント配布。
-----	--------------------------------

使用器具	パウダー、オイル、OHP
------	--------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅう応用実技	単位数	5
担当者	西田 篤	学年	2

教育目標	1年次に行った技術を踏まえ、基礎の大切さの再確認を行う。解剖学、運動顎の知識を踏まえ正確に触診ができる力を身につける。様々な視点から治療方法を考える。
教育内容	刺鍼と施灸のやり方についての再復習。自己練習の方法を紹介し各個々人の技術レベルを高める。 患者に対して気使いを養い、適度な刺激量を身につける。 頸部、背部、腰部、上肢、下肢における主要な解剖を踏まえ、実際に触診できる能力を身につける。 治療のポイントを理解し治療をすることができる。
教育方法	基礎の部分についてはデモを実施し、それを踏まえて反復訓練を行う。単調な練習となるが様々な練習方法を紹介し、基礎の克服を目指す。 局所の治療については知識に基づいてしっかりと手が出来ているのかを確認する。
評価方法	日常点、実技試験
教科書	解剖学、リハビリテーション医学
使用器具	セイリンディスポ鍼、透熱灸

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅう応用実技	単位数	
担当者	小笠原 政幸	学年	2

教育目標

- ・ 経穴の正しい位置に取穴する。経穴下の局所解剖を理解する。
- ・ 刺鍼前後の経穴下の反応(圧痛・硬結・緊張・知覚過敏など)チェックと刺鍼中鍼に伝わる感覚(鍼が重くなる、締めつけられるなど)を感じ取るなど指頭の感覚を鍛える。
- ・ 身体への触れ方、すなわち身体各部の触診の仕方を学習する。
- ・ 刺鍼する際の施術者、被施術者の体位を学習する。
- ・ 鍼響(ひびき)を体験しその性質や方向性を確認し色々な問題点を考える。
- ・ 施術上の注意点を学ぶ。

教育内容

本日のテーマ(10分間)・ 経穴の位置、局所解剖、刺鍼法(体位、使用鍼、刺入深度、手技)主治、備考のところで経穴に関する知識などを説明

デモ(10分間)・・・皆さんの中から毎回1人をモデルにして、触診の仕方、取穴、刺鍼、施灸などを解説

学生練習(35分間)・・・ペアを組み2人ペアの一方が取穴、刺鍼、施灸の練習をし観察レポートを作成する

学生練習(35分間)・・・同上

教育方法

- ・ 刺鍼前の経穴下の反応(圧痛・硬結・緊張・知覚過敏など)を観察記録する
- ・ 刺鍼の際に起こる響きの性質(重苦しい、ズーン、電撃様の強烈な響き)や方向を観察記録する
- ・ 刺鍼中、鍼につたわる抵抗感(鍼が重くなる、締めつけられる、紙をプツプツつつく)を観察記録する
- ・ 刺鍼後の経穴下の反応を観察記録する。刺鍼前にあった圧痛、硬結などの反応に変化がみられたかどうか

評価方法

取穴、刺鍼、施灸の実技テストと観察レポートの内容により評価する。

教科書

使用器具

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅう応用実技	単位数	
担当者	土門 奏	学年	2

教育目標	低周波鍼通電療法の修得。筋肉パルスを中心に、体表解剖などの理解による筋の触診から通電までを修得する。 物理療法の修得。鍼灸治療に併用される電気療法と温熱療法の知識と技術を修得する。
------	---

教育内容	筋骨格の位置、末梢神経の走行などの局所および体表解剖を理解する。 身体各部に適した触診法、刺鍼法を身に付ける。 筋パルスを中心とした低周波鍼通電療法の理論を理解し、実技をおこなう。 物理療法についての基礎的な知識を身につけ、実技をおこなう。
------	---

教育方法	低周波鍼通電療法 学生は事前に配布したプリントを完成させ、その日の代表者が筋の起始・停止・作用について骨模型等で発表説明する。 その後、触診方法、刺鍼方法の説明を受け、二人一組となって実技をおこなう。 物理療法 前半に物理療法の理論や使用方法の講義を受け、その後実技をおこなう。
------	---

評価方法	実技試験・出席状況・プリント提出・授業態度
------	-----------------------

教科書	教科書は指定なし。プリントを配布する 参考資料：東洋療法学校協会編教科書 解剖学 第2版（医歯薬出版）、鍼通電療法テクニック（医道の日本社）など
-----	---

使用器具	ディスプレイブル鍼 セイリン製50mm、60mm20号（Lタイプ）、50mm18号（Jタイプ） 低周波治療器
------	---

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅう臨床実技	単位数	3
担当者	根本 宏三	学年	3

教育目標	整形外科疾患以外の病態を把握し、施術を行うことができる。 各疾患における治療を紹介し、様々な方向から治療の考え方を養う。
------	---

教育内容	主要症候の理解、鑑別と適否。鍼灸治療の考え方。具体的方法。 各疾患について刺鍼の仕方、施灸の仕方を身につける。
------	--

教育方法	前半の30分で説明とデモを行う。その後、各自がペアとなり、鍼・灸の施術を行う。 ひとつの方法にとらわれることなく、角度を変えて病態を見る目を持つようになる。
------	---

評価方法	実技テスト
------	-------

教科書	特になし
-----	------

使用器具	ディスポ鍼 透熱灸
------	-----------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	はりきゅう臨床実技	単位数	
担当者	小林 智子	学年	3

教育目標	疾患の一般的な経過と治療法を理解し、その重症度や症状に応じた鍼治療が行えるように触診技術を身につけ、運動器疾患に対する低周波鍼通電療法を修得する。
------	---

教育内容	あはき師が診ることの多い運動器疾患を中心に演習を行う。
------	-----------------------------

教育方法	毎時間各疾患を想定し、問診、診察、治療に至る過程で汎用される項目を取り上げ、実際にそれを系統立てて演習を行う。その際、主観的な所見だけでなく客観的なデータを収集することを身につけられるように観察、計測、理学的検査などを実施する。 診察に必要と思われることを、自ら調べ、図を書き、治療をし、観察結果を記入し、レポートを完成させる。
------	---

評価方法	授業態度、出席状況、レポート内容、実技テストにより評価する。
------	--------------------------------

教科書	各自必要と思われるものを用意する。
-----	-------------------

使用器具	筋骨格関節模型、関節角度計、メジャー、打鍵槌、低周波治療器。
------	--------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	臨床実習()	単位数	1
担当者	米田・曾川・飯野	学年	3

教育目標	<p>臨床実習の最終目標はあはき師としての「心・技術・知識」を備え、患者さんに接すること出来る医療人。このキーワードを目標にどこに就職しても困らない施術者を育てることが目標である。そのためにも</p> <p>施術者としてのマナーを身に付ける。 施術のための情報収集能力を身に付け、それを生かした施術を考える。 相手を意識した対応が出来る。 安全で手際の良い施術を行なう事ができる。</p> <p>この内容を中心に臨床実習、の指導を行う。以下の内容が臨床実習の教育目標である。施術者としてふさわしい服装や言葉使いで行なわれる。衛生的な施術が出来る。配慮対応を意識できる。適切な情報収集を行い病態把握、インフォームドコンセントが実施できる。</p>
教育内容	<p>前半ではグループ学習を行い後半1人での施術へとつなげるための、情報収集・病態把握やインフォームドコンセントを中心におこなう。毎回ディスカッションの時間を作り個々が次回への課題を明確にする。</p>
教育方法	<p>3年生同士、違うクラスの人に対し施術を行う。 *以下の流れに従って施術の実習を行う。</p> <p>前半 説明・準備 グループで医療面接、所見、施術を2コマかけて行なう。 フィードバック・ディスカッション 日誌の記入</p> <p>後半 施術者：事前説明、諸注意、ベットメイキング201・202 患者：予診表作成 自教室 医療面接 身体診察 施術(鍼・灸・徒手)約60分 201・202 片付け カルテの記入・アンケートの記入 評価者・患者からのフィードバック</p>
評価方法	出席回数、提出物、ファイル内容
教科書	臨床実習用ファイル
使用器具	ディスポ鍼各種・艾・各種の灸・滑剤・低周波鍼通電用機器、検査器具

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	臨床実習()	単位数	
担当者	笹倉・曾川・飯野	学年	3

教育目標	<p>臨床実習の最終目標はあはき師としての「心・技術・知識」を備え、患者さんに接すること出来る医療人。このキーワードを目標にどこに就職しても困らない施術者を育てることが目標である。そのためにも</p> <p>施術者としてのマナーを身に付ける。 施術のための情報収集能力を身に付け、それを生かした施術を考える。 相手を意識した対応が出来る。 安全で手際の良い施術を行なう事ができる。</p> <p>この内容を中心に臨床実習、の指導を行う。 以下の内容が臨床実習の教育目標である。 医療人としての必要なマナーを習得し、患者さんの配慮を学ぶ 自己の課題を明確にする。 患者さんに応じた刺激方法の選択ができ、安全な施術を行なうことができる。</p>
------	---

教育内容	<p>限られた時間の中で、効率よくかつ安全に施術が出来るようシュミレーション実技を行う。施術者役には見やすいカルテの作成を、患者役には評価アンケートを記入させる。施術後にディスカッションを行い個々が次回の課題を持つ。</p>
------	--

教育方法	<p>3年生が2年生、1年生を施術する。 *以下の流れに従って施術の実習を行う。 施術者：事前説明、諸注意、ベットメイキング201・202 患者：予診表作成 自教室 医療面接 身体診察 施術(鍼・灸・徒手)約60分 201・202 片付け カルテの記入・アンケートの記入 評価者・患者からのフィードバック</p>
------	---

評価方法	出席回数、提出物、ファイル内容
------	-----------------

教科書	臨床実習用ファイル
-----	-----------

使用器具	ディスポ鍼各種・艾・各種の灸・滑剤・低周波鍼通電用機器、検査器具
------	----------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	臨床実習()	単位数	
担当者	笹倉・曾川・飯野	学年	3

教育目標	<p>臨床実習の最終目標はあはき師としての「心・技術・知識」を備え、患者さんに接すること出来る医療人。このキーワードを目標にどこに就職しても困らない施術者を育てることが目標である。そのためにも</p> <p>施術者としてのマナーを身に付ける。 施術のための情報収集能力を身に付け、それを生かした施術を考える。 相手を意識した対応が出来る。 安全で手際の良い施術を行なう事ができる。</p> <p>この内容を中心に臨床実習、の指導を行う。 以下の内容が臨床実習の教育目標である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識した対応が出来る。 ・治療計画がたてられる。 ・安全で手際の良い施術が出来る。
------	--

教育内容	<p>臨床実習形式では前半(6/17~7/29(水))と後半(10/14~11/25(水))にて計2回外来患者様に対し施術を行う機会を設ける。前半はベッド1ブースにつき施術者と施術者補助2人が施術を行い、担当教員がフォローにまわる。また「困ったときはすぐ聞ける体制」をとる。施術が終了した翌週は自分が担当した患者様の状況を他の学生と共にカンファレンスを行なう。後半は前半の様子を確認しながら個別に対応を行い、基本的には一人にて施術が行えるようにする。</p>
------	---

教育方法	<p>外来実習に関しては、指導教員、施術者、助手兼評価者(前半)にて患者様に対して施術を行う。施術を行った後は教育目標が達成できているかどうか反省会を行う。</p> <p>*以下の流れに従って施術の実習を行う。各ベッドに1名付き指導する。</p> <p>指導教員による予備問診 施術者：事前説明、諸注意、ベットメイキング 医療面接 身体診察 施術(鍼・灸・徒手)約60分 実習生は片付け。患者様はアンケート記入。 指導教員・実習生・評価者で反省会。</p>
------	--

評価方法	出席回数、提出物、ファイル内容
------	-----------------

教科書	臨床実習用ファイル
-----	-----------

使用器具	ディスプレイ各種・艾・各種の灸・滑剤・低周波鍼通電用機器、検査器具
------	-----------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	臨床実習(対策)	単位数	
担当者	長谷川 賢司・笹倉 淳子・曾川 小百合	学年	3

教育目標	はりきゅう、あん摩、マッサージ、指圧の基礎を確認し、基礎技術を徹底する。また、衛生管理やリスク管理、施術時の手際やポジションについて習得する
------	--

教育内容	ペアで施術練習を行いながら、基本的な施術の方法を確認する。また、身体各部への、はりきゅう、あん摩、マッサージ、指圧の施術練習をおこなう。
------	--

教育方法	すでに学習している内容であるため、復習、確認をしながら実習を行なう。身体の使い方や、ポジションなど、より良い状態で施術が行なえるように意識させながら施術を行なう。
------	---

評価方法	なし
------	----

教科書	なし
-----	----

使用器具	以前の授業で配布された資料、滑剤、鍼灸道具一式
------	-------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	スポーツ医学	単位数	1
担当者	松田 和彦	学年	2

教育目標	身体・体力測定の実技と理論を学び、各自における健康度を評価し、予防医学の観点から、筋力・持久力・柔軟性の基本運動を日常生活の中で具体的に実践・体験することで心と体がどう変化してゆくかを学ぶ。
------	---

教育内容	身体・体力測定実技及び理論 フリーウェイト実技及び運動処方
------	----------------------------------

教育方法	講義の前半は、理論を説明し、後半は、実技を中心に行なう。 各自のレベルにおける個別指導も行なう。
------	---

評価方法	実技テスト（BP/SQ）20点・理論テスト50点・出席日常態度30点（レポート含む） 合計100点
------	--

教科書	健康運動実践指導者用テキスト / 別途資料
-----	-----------------------

使用器具	身体・体力測定器具一式 / トレーニング器具一式、ビデオの使用
------	---------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	スポーツ医学（ストレッチング・テーピング）	単位数	
担当者	大西 千佳	学年	2

教育目標	あはき師として、接する機会が多い腰痛や頸肩痛（肩こり）などの予防や治療としてのストレッチング、また様々な競技に必要なストレッチングの重要性を理解した上で、その正しい方法を身につける。テーピングでは、スポーツ障害その他の傷害に対しテーピングの効果を知った上で基本的なテーピングの方法を身につける。
------	---

教育内容	ストレッチングの基礎知識を理解した上で、具体的な症状（腰痛、肩こり、膝痛）を持つ患者さんに対して指導できることを目標に、まずは自分が体験する。テーピングの基礎知識を理解したうえで、基本的方法を足関節のテーピングで練習する。
------	---

教育方法	ストレッチングの基礎知識を座学で講義し、ストレッチング（セルフ・パートナー）の基本動作を習得する。 各症状・競技に対するストレッチングについては、病態の学習にならないように注意する。反復して足関節のテーピングを行い技術を身につける。すでに技術を持った学生には、個々に応じた対応を行う。
------	---

評価方法	出席状況により評価する。
------	--------------

教科書	使用教科書は特に指定なし。各授業にて必要に応じてプリント配布。
-----	---------------------------------

使用器具	テーピング（ホワイト38mm）、アンダーラップ、シザーズ、その他のテーピング関連用具
------	--

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合はりきゅうマッサージ（解生対策）	単位数	2
担当者	長谷川 賢司	学年	2

教育目標	人体の構造と機能を中心に、鍼灸臨床で遭遇する主な症候についての病的状態を学習するのに必要な解剖学、生理学的知識を習得させる。また、鍼灸・手技療法の治療効果のメカニズムについて考えさせる。
------	---

教育内容	運動器疾患（腰痛、膝関節痛、肩関節痛）循環器疾患（虚血性心疾患）、脳血管障害、消化器疾患（肝疾患、胆石症、胃癌）、呼吸器疾患（気管支喘息）、腎疾患（急性腎炎）、膠原病（慢性関節リウマチ）、内分泌疾患（バセドウ病）、神経疾患（パーキンソン病）、婦人科疾患（子宮筋腫）などについて学習する。
------	---

教育方法	疾病についての代表的な症例を提示し、その基本パターンから病態の考え方と症状及び身体所見の考え方について基礎医学的なキーワードを列挙させる。さらに解剖生理学的な関連について講義し理解を深める。さらにそれらの症例に鍼灸・手技療法がどのように関与できるのかについて基礎医学見地から検討を行わせる。最後に本時に学習した内容について医学知識テストを行う。
------	--

評価方法	各時限の終了時に実施する医学知識テストで評価を行う。
------	----------------------------

教科書	解剖学、生理学、病理学、臨床医学総論、臨床医学各論、はりきゅう理論（東洋療法学校協会編）
-----	--

使用器具	特になし
------	------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合はきマ（経絡ストレッチ）	単位数	
担当者	朝日山一男	学年	2

教育目標	経絡の位置を再度確認し、経絡の持つ作用を理解させ、その運用を経絡ストレッチという手段をもって習得させる。
------	--

教育内容	M-Testを理解させた後、どのような現場で経絡ストレッチが活用されているかを理解させ、具体的には、上肢、体幹、下肢の障害に対応できる方法を身につけさせる。
------	--

教育方法	M-Testを理解させた後、上肢、体幹、下肢のそれぞれの疾患に対しどのように対処したらよいかを理解させる。診断 治療という体系を経絡ストレッチで可能にすることを理解させる。
------	--

評価方法	出席により評価
------	---------

教科書	プリント、参考文献 「経絡ストレッチと動きづくり」、「漢方とツボと経絡ストレッチ」
-----	---

使用器具	パイオネックス（0.6mm）
------	----------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	臨床施設見学	単位数	
担当者	教務	学年	2

教育目標	医療現場を見学し、将来の方向性を考えるきっかけとする。
------	-----------------------------

教育内容	社会人としてのマナーと、医療人としての姿勢や態度を身につける。
------	---------------------------------

教育方法	見学施設に関する事前調査を行うことで、より有意義な実習とする。
------	---------------------------------

評価方法	出席、レポート
------	---------

教科書	なし
-----	----

使用器具	実習衣
------	-----

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合はきマ (MLD)	単位数	
担当者	笹倉 淳子・山内 晶子	学年	2

教育目標 臨床現場で出会うリンパ浮腫の患者様へ適切に対応できるよう、リンパ浮腫とリンパ浮腫治療のひとつである複合的理学療法について理解を深める。

教育内容 リンパ浮腫と複合的理学療法についての理解と体験。

教育方法 パワーポイントによる要点をおさえた内容と症例により、理解を促す。実技の中では、皮下と筋肉への圧のかけ方の違いを体感する。

評価方法

教科書

使用器具 PC プロジェクター リンパ浮腫治療用脚マット 上下肢用弾性着衣・包帯 プリント類 学生は短パン持参。

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療(マニュアル)	単位数	2
担当者	内田 真弘	学年	3

教育目標	基礎教科として習ってきた徒手療法(指圧、あんま、マッサージ)やPNF、モビリゼーション、などを臨床で使える手技にすることを目標とする。カウンセリング、問診、視診、触診、など理論だけでなく実際の臨床現場を想定して実技をおこなう。後期には卒業試験対策としてクラシックマッサージを行う。
------	--

教育内容	人間を分析的に診る方法と全体として診る方法を学び、実際に徒手を使っでの治療方法を学んでいく。足部から体幹、上肢まで疾患を具体的に挙げてそれぞれについての視診、触診、治療、運動療法まで含めて総合治療を学ぶ。
------	--

教育方法	ただ手技のかたちや手順だけを学ぶのではなく自分で患者の容態や性格、気質までを含めて発想が出来るようにグループなどでお互いの動作をみて感じ取ることを主眼とする。
------	---

評価方法	グループでのレポート発表。クラシックマッサージについては実技試験をおこなう。
------	--

教科書	各授業にて必要に応じてプリント配布
-----	-------------------

使用器具	骨モデル ホワイトボード ベビーオイル
------	---------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療 (B G M)	単位数	
担当者	後藤 治久	学年	3

教育目標	皮膚・皮下への徒手検査及び施術の練習をし、施術途中・後の患者の変化を五感にて実感する事。 また患者の立場になって体感する事。
------	---

教育内容	1) 皮下の異常について理解し、検査結果を正しく評価する。 2) 施術の目的と手法を知り、人体に適応する。 3) ドーズ決定及び治療効果判定の簡便な方法である事を理解し、応用できる。 4) 自宅での自己治療法・予防法として、患者に紹介でき、自分自身にも使用できる 5) 反射帯を、皮下鍼・円皮鍼の治療範囲拡大法として、応用できる。 以上の事を、実技実習と講義で学生に教授する。
------	---

教育方法	実技でペアを組んでもらい、各ペアを巡りながら手取り足取り実技指導をする
------	-------------------------------------

評価方法	出席点及び授業態度
------	-----------

教科書	プリントを使用
-----	---------

使用器具	実技室使用。場合によりパウダーやマッサージオイルを使用。
------	------------------------------

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療（MLD）	単位数	
担当者	川井・橋本	学年	3

教育目標	MLDがどんな疾患に用いられるかを理解し、圧のかけないマッサージでの施術の存在を認識する。
教育内容	MLDを含めた複合的理学療法を諸外国の状況を含めて紹介し、皮下と筋肉へのアプローチの違いを体得する。圧のかけないマッサージを実践し、受ける。
教育方法	前半はPCを用いて複合的理学療法を講義し、後半はMLD実技を行う。
評価方法	
教科書	
使用器具	PC、プロジェクター、学生短パン持参。

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療 鍼灸臨床学	単位数	
担当者	森山 朝正	学年	3

教育目標 鍼灸臨床において最も重要な病態把握のために必要な観察検査法の体系化を学び、4大疾患を例にバイオメカニクス鍼灸療法の実際を身につける。

教育内容 基礎医学で学んだ知識を鍼灸臨床の評価法として理解する。筋骨格器系疾患の病態を把握するために必要な運動学を基礎にした人の身体の診方を学ぶ。M testに於ける臨床応用を理解する。

教育方法 初めの授業で全身状態を把握する必要性を画像、資料から学ぶ。その後の授業は各疾患に対する理解を深め、その疾患に対して行われているバイオメカニクス鍼治療を学ぶ。最後にM testの実際を理解し、習得する。

評価方法 出席状況により評価する

教科書 東洋医学臨床論（鍼灸編）、配布資料

使用器具 ラップトップPC、プロジェクター、角度計、メジャー、握力計、ディスプレイ鍼（寸6、2番）、低周波通電装置、パイオネックス（0.6mm）

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療 (SP, は実)	単位数	
担当者	大西 雅士	学年	3

教育目標	腰部・膝部のスポーツ傷害の問診・診察・処置・経過の観察・予後の推定・患者への説明などの臨床的な流れや考え方の習得
------	--

教育内容	腰部・膝部のスポーツ傷害の問診・診察・処置・経過の観察・予後の推定・適応の判定・患者への説明などの臨床的な流れや考え方をプロジェクター、実技を通じて理解を促し、卒業後の臨床の一助とする。
------	---

教育方法	前半はプロジェクターを使い、腰部、膝部のスポーツ傷害の3年間修学した事の復習後半は腰痛、膝痛のある生徒を患者に見立て、問診・診察・処置・経過の観察・予後の推定・適応の判定・患者への説明などの臨床的な流れや考え方、処置の仕方の具体的なイメージを作ってもらう。
------	--

評価方法	教師側から生徒に質問を授業中に出し、習熟の喚起を促す。 モデルへの積極的な参加、質問の質、教師からの質問に対する回答により、知識、意欲、観察力、臨床能力などを評価する。
------	---

教科書	講座開始に先立ち、プリントを渡す。
-----	-------------------

使用器具	プロジェクター、パソコン ディスク 30mm-16号、45mm-24号、指サック、消毒セット
------	---

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療（小児鍼）	単位数	
担当者	清水 尚道	学年	3

教育目標	小児鍼の概要と手技について学習する。
教育内容	<ul style="list-style-type: none">・小児鍼の概要（種類と手技）・大阪での小児鍼の実態・実技
教育方法	<ul style="list-style-type: none">・スライド（パワーポイント）にて小児鍼の概要と大阪での実態・デモンストレーション・学生全員の前腕と腰部に小児鍼刺激を行う・2人1組で実技練習
評価方法	授業に臨む様子
教科書	東洋療法学校協会編「はりきゅう実技（基礎編）」、役立つ使える鍼灸鍼法 医道の日本社
使用器具	セイリン小児鍼 型

授業要項

平成21年度
神奈川衛生学園専門学校

分野	専門分野		
科目名	総合東洋医療（積聚治療）	単位数	
担当者	高橋 大希	学年	3

教育目標	<p>鍼灸には日中問わず数多くの治療法が存在する。日本においては鍼灸に治効を現代医学に求めた通称現代医学的鍼灸治療法、革命後中国において祖国医学を整理した中医学、そして中国から日本に伝わり様々な変化を遂げてきた日本鍼灸の3つに分けることができる。鍼灸を含め医学に本来東も西も無いと思われるが、東洋的な発想に基づき実践されてきた経験は鍼灸の治療効果を最大限に発揮できるものと考えられる。積聚治療という一つの治療法を通して、東洋的発想が現代医学をも包括する内容であることを知ることができるきっかけになってほしい。</p>
教育内容	<p>積聚治療を通して、鍼や灸の身体における影響や効果や、切診と言われる東洋医学の診察技術を体験する。</p>
教育方法	<p>学生はときに現在の自分の思考と経験、知識、技術だけで多くのこと（鍼灸治療法）を理解しようとするが、それは大きな間違いである。実技においてはそれを理解する柔軟な思考と反復した練習が必要である。学生が勘違いしないように十分注意しながら履修内容順に講義・実技を中心として進行する。</p>
評価方法	<p>評価なし</p>
教科書	<p>配布資料</p>
使用器具	<p>ホワイトボード、ノートパソコン、プロジェクター、鍼灸臨床器具一般、実技室関連備品など</p>